

平成22年度
地域ICT振興型研究開発採択課題

(参考)
北海道総合通信局

研究課題名、研究代表者名	研究開発の概要
FWAを使った十勝農村部でのモバイルテレメディシンシステム構築 社会医療法人 北斗 北斗病院 院長 井出 渉	農村部でFWA(Fixed Wireless Access:固定無線接続)サービスを使ったモバイルテレメディシンシステムを構築し、発症から3時間以内の治療開始といったタイムリミットのある急性期脳梗塞患者を迅速に適切な病院への搬送につなげるなど、救急医療の質の向上への利活用のための実証実験を、北海道北十勝消防事務組合エリアで行う。また、インターネットを介し遠く離れた人員の豊富なナショナルセンターなどとの連携も研究する。
ユビキタスサービスプラットフォームに対応した組込みシステム用TCP/IP プロトコルスタックとサポートシステムの研究開発 苫小牧工業高等専門学校 情報工学科 教授 阿部 司	IPv4 とIPv6 の両方に同時に対応する組込みシステム用のTCP/IP プロトコルスタックと、そのサポートソフトウェア及びハードウェアの研究開発を実施する。また、本研究開発の成果を人材育成にも生かすためe-Learning コンテンツ開発し、オープンソースとして北海道地域で優先配布し、北海道地域におけるユビキタスサービスプラットフォームに対応した組込みシステムのソフトウェア・ハードウェアの開発の促進と人材育成に貢献することを目的とする。

平成21年度
地域ICT振興型研究開発採択課題

北海道総合通信局

研究課題名、研究代表者名	研究開発の概要
<p>マリブロードバンドを活用したICT漁業の実現とリアルタイム水産資源評価に関する研究開発</p> <p>公立はこだて未来大学 システム情報科学部 准教授 和田 雅昭</p>	<p>北海道の主要な地域産業である水産業のICT 振興を目的として、IEEE802.11j 規格の無線LANシステムを用いて北海道北部日本海沿岸海域にマリブロードバンド環境を整備し、小型漁船に装備されている航海計器や操業計器などを対象としたセンサネットワークシステムを構築することによって海底地形図や水産資源分布図などの二次情報をリアルタイムで作成し評価することにより、気候変動、レジームシフトに強い順応的資源管理型漁業の実現を目指す。</p>
<p>自立型水素吸蔵合金アクチュエータを利用した海水揚水システムに関する研究開発</p> <p>函館工業高等専門学校 准教授 宮武 誠</p>	<p>函館市総合研究センターを函館港内に設立することにより、施設の運用には大量かつ良質な外海水の取得とそれに伴う処理水流出が予想される。一方、当該地域に温泉源があることから、開発した温度差によって動力を生み出す自立型水素吸蔵合金アクチュエータの外海水揚水施設としての適用性や実用後における港内の水質環境負荷の影響を、現地実証実験及び数値シミュレーションを通じて多面的に立証する。</p>
<p>デジタルコンテンツへの印象語(感性メタデータ)を付加する処理の研究開発</p> <p>北海道大学 情報科学研究科 教授 長谷山 美紀</p>	<p>地域における新規映像ビジネスを創出すべくユーザー参加型映像視聴システムを導入し、人間が持つ直感的なニュアンス(暖かい等の主観的概念カテゴリ)を現す感性メタデータの自動付与技術を開発する。</p>